

News Letter

Topic 1 行動変容を促進し心身の健康を維持・増進するサービス開発（B-2）

研究開発テーマB-2「健康無関心層を含めた行動変容の促進による心身の健康を維持・増進するサービスの開発」（代表：株式会社アシックス スポーツ工学研究所 部長付 田川 武弘）

成人の約7割とされる健康づくり無関心層を含めた人たちに対し、行動変容を促進して心身の健康を維持・増進するサービスを開発します。このサービスは、企業や自治体や当事者を顧客と想定したビジネスモデルを通じて、社会に実装することを目指しています。

この研究ではVol.4でご紹介をした研究開発テーマB-1「自律性の向上を促す行動変容介入サービスの基盤技術の研究開発」（代表：国立研究開発法人産業技術総合研究所）で取り組み、健康無関心層の類型化と効果的な介入方法の知見と連携し、ポピュレーションアプローチを可能とする対話AIを類型別に開発します（【柱1】）。ここでは現場ノウハウを対話AIに学習させることで、如何に類型別に寄り添う対話を構築できるかが重要となります。

次に、開発した対話AIを搭載し、身体活動を基軸としながら各種の健康行動ソリューションを提案する行動変容アプリを開発します。またユーザーの利用実績や意識・行動の変容を把握できる管理者向けのデータベースも開発します（【柱2】）。アプリには、健康づくりに無関心な人でも手軽に始められる健康行動の提案や、楽しく続けられるゲーミフィケーション機能なども搭載する予定です。

さらに、行動変容アプリを利用する効果を、個の自律性や社会インパクトの観点で評価する手法を開発します（【柱3】）。提供するサービスの効果を分かりやすく示すために、その価値を金銭的に換算し、費用対効果を可視化します。

このサービスでは多忙な生活を送る女性を中心に、健康課題の予防や解決のための社会実装を研究開発テーマC-1「地域住民の包摂性向上と妊婦・子育て女性のWell-being最大化に向けた社会技術の開発」（代表：筑波大学）と協力して進めています。当事者向けサービスに加え、非当事者や企業向けのサービスを組み合わせた包括的な取り組みを目指しています。

研究開発テーマ（B-2）の全体像と目指すゴール





研究開発テーマA-1 「コミュニティと共進化するデジタルツインによる次世代型包摂的まちづくり手法と包摂性評価指標の開発」（研究開発責任者：産業技術総合研究所 首席研究員 本村 陽一）

日本では、少子高齢化が深刻な課題となる中で、かつて活気に満ちていた郊外団地等の地域コミュニティの活動が低下し、人・集団同士のつながりが希薄化するという社会問題が浮き彫りになっています。この問題を解決するために、私たち研究開発テーマA-1では、“つながり”を基盤に誰一人取り残さないコミュニティ再生・創生を目指しています。

私たちの研究開発では、個々人の多様な生活スタイルに応じたコミュニティ支援を行い、コミュニティ再生・形成やその担い手の育成を進められる仕組みを社会技術として創っています。このアプローチにより、地域の皆さんへの時間やコストの負担低減と共に、特定の誰かへ過大な負担をかけずに、積極的にコミュニティに関与できる環境を整えることが可能です。

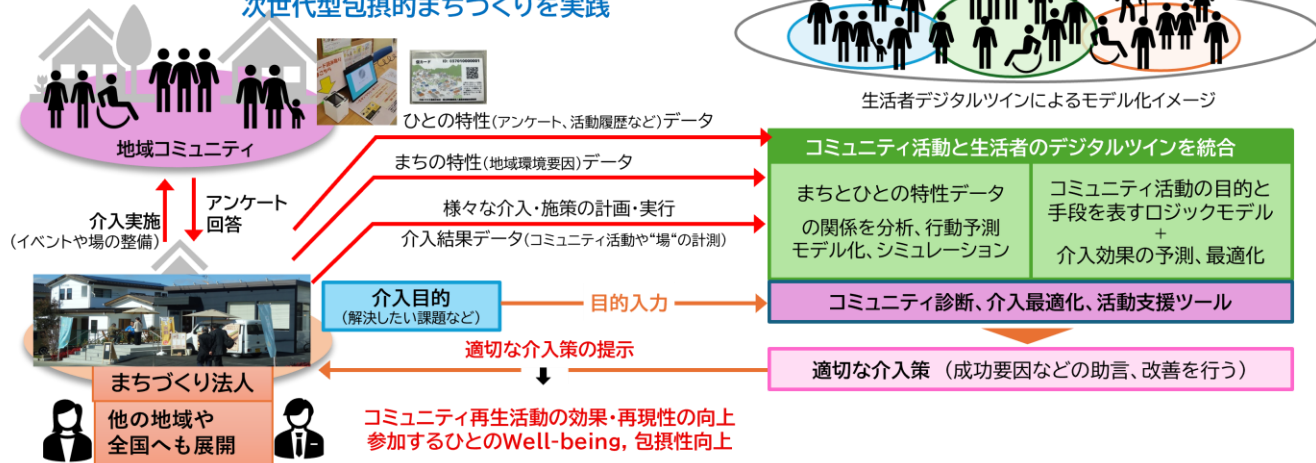
現在、産業技術総合研究所、大和ハウス工業、つくばウエルネスリサーチ、筑波大学、東京大学が連携し、大和ハウスのネオポリス（戸建団地）をモデル的にコミュニティ再生・形成を進めています。具体的には、様々な取り組みを支えるデジタル技術と場の運営、担い手の養成、包摂性とWell-being評価手法を開発・実証取り組んでいます。

さらに、まちとひとの特性をデータ化し、コミュニティ活動の目的や手段と組み合わせることで、コミュニティ診断や効果の予測、事後の振り返り、活動の改善ができる支援ツールを開発し、まちづくりガイドラインやコミュニティ参加を促すデジタルプラットフォームを普及します。また、さまざまな地域で活動を持続させるためのまちづくり法人や事業化の仕組みについても、多くの企業と連携するコンソーシアムを発足しました。

これらの研究成果によって、まちに住む人々が自ら進んでコミュニティに参画し、お互いを助け合う活動が活発になることを目指しています。私たちの目指す包摂的まちづくりの実現に向けて、今後の展開にご期待ください！

参考Webページ: <https://housetsu-community-a1.jp>

コミュニティと共進化するデジタルツインにより、 次世代型包摂的まちづくりを実践



ニュースレターバックナンバー、シンポジウム動画等、掲載中！

- ニュースレターバックナンバー
<https://www.nibiohn.go.jp/sip3-housetsu/library/library.html>
- SIP/BRIDGE Webサイト（内閣府）
<https://www.sip.go.jp/sip/04.html>
- SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」シンポジウム2023
<https://www.youtube.com/watch?v=YJKPwQdefbo>



各テーマのイベント予定、お知らせは、下記Webページでも公開していきますので、ご確認ください！

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

〒567-0085
大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8
TEL: 072-641-9870 FAX: 072-641-9831
Mail: sip3-housetsu@nibiohn.go.jp

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館7階
TEL: 03-6273-3511 FAX: 03-6273-3512



<https://www.nibiohn.go.jp/sip3-housetsu/>

